

笑顔が生まれる朝の会

「校長先生、鳥になれるなら、何したいですか。」
二年B組の朝の会を参観しようと思って入っていった私に、いきなりこんな質問が飛んできました。そのいきさつはわかりませんが、今朝の二年B組はこの話題で盛り上がっていました。

「担任の話」の話題の一つだったようです。
生徒たちは終始笑顔。担任のO教諭も生徒たちに優しいまなざしで見つめています。私が真面目に答えたら、この質問に事前に答えていたI教諭のユニークな回答が生徒の口から飛び出しました。「歩いていてる人に糞（ふん）を落としたい」というのは、I先生だけやん！」
「おっ、それもいいね！」

私がそう答えると、全生徒が大笑い！朝の会が大爆笑の会となりました。とても微笑ましいひとときでした。毎朝写真入りのメッセージを黒板に準備し、生徒たちのよさを認めることから一日を始めるO学級の朝の会は、肩ひじ張らないざっくばらんな雰囲気と笑顔にあふれていました。



隣の二年C組では、本日担任のN教諭が休みを取りました。第一子が間もなく生まれるということ、生徒たちはおめでたいその理由をしっかりと理解していました。教室をのぞくと、生徒たち一人一人が自分のタブレットを広げて、うれしそうにのぞき込んでいます。中には、行を指で追いつながら丁寧に文面を追う生徒も……。彼らが読んでいたのは、担任のN教諭からのメッセージでした。前日のうちに、彼は二年C組の生徒に向けてメッセージを残しておいたのです。

生徒たちは黙々と長い文面を読んでいましたが、表情は和み、目は輝いていました。新しい命の誕生と、N教諭の粹な方法で送ったメッセージが、生徒たちを新鮮な気持ちにさせたようです。

学校の一日は、生徒と担任の笑顔と心の通い合



いから始まらなければなりません。そのために、担任は努力をしていきます。ぜひ、皆さんも朝の会を笑顔や感動が生まれる会にしてください。リーダーたちの話もどんどん笑顔が生まれるものにしてくださいね。

私のメッセージも、明日はほのぼのとする話題にします。ネタは既に仕入れてありますよ。
(四月二十日 記)

